

《人影花》

图书基本信息

书名：《人影花》

13位ISBN编号：9784122060052

出版时间：2014-9-20

作者：今邑彩

页数：325

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu000.com

《人影花》

内容概要

見知らぬ女性からの留守電、真実を告げる椿の花、不穏に響く野鳥の声…。ささいなことから平和な日常が暗転し、足元に死の陥穽が開く。戦慄のミステリ&ホラー全9篇を収録した、文庫オリジナル短篇集。 解説 日下三蔵

《人影花》

作者简介

今邑 彩（いまむら あや、1955年 - 2013年2月頃）は、日本の小説家、推理作家。長野県出身。本名は今井 恵子（いまいけいこ）。

都留文科大学英文科を卒業し、会社に勤めるが後に作家に転身する。1989年、『卍の殺人』が、東京創元社の全13巻の推理小説シリーズ「鮎川哲也と十三の謎」のうちの1冊を公募する企画「鮎川哲也と十三の謎 十三番目の椅子」（後の鮎川哲也賞）で最優秀作品に選ばれ、デビューした。

2013年3月6日、東京都内の自宅で死去しているのが発見される。2月上旬に病死したものと推測された。57歳没。

《人影花》

書籍目録

私に似た人

神の目

疵

人影花

ペシミスト

もういいかい...

鳥の巣

返して下さい

いつまで

《人影花》

精彩短评

1、【私に似た人】：一通打错的电话以及两个孤独的精灵，颤栗惊悚的最后一行绝赞；【疵】：在密室中殒命的恋人疑似深藏一段同志情缘，结局有两次逆转，收尾带着一种让人无法释怀的恶寒；【人影花】：无悔照顾瘫痪丈夫的妻子突然蒸发的背后隐藏的葛藤。作者硬拗了比较正面的结局，但最后一行果然恶意炸裂；【鳥の巣】：可怜主妇被复仇心极强的野鸟导向毁灭的惊人故事，这篇基本算是灵异故事；【返してください】：深夜打错的电话，执拗地要求男主角“请归还那样东西”，中盘立即解谜但是最后却迎来了阴湿狂气的结局；【いつまで】：略带灵异触感的探索家庭关系的温馨（？）故事；【もういいかい】：ショートショート，杰作短篇【鬼】的原型；【ペシミスト】：ショートショート，最后一行颇黑色幽默；【神の目】：骚扰电话和告发信背后隐藏的亲子羁绊

《人影花》

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu000.com